

## 看護学科

## 講義要綱

科目	公衆衛生	単位数	1	開講時期	3年後期
授業形態	講義	時間数	15	必修区分	必修
担当者	医師：田中 一成 (6) 歯科医師：小畑 充彦(2) 静岡市食品衛生課参事兼課長補佐 薬剤師：中川 美乃里(2) 保健師(6)				
授業目的	公衆衛生の基本理念とそれに基づく調査・活動を理解する。				
到達目標	静岡市の特徴を意識し、生活者の健康増進に対応した法制度および地域の保健活動の実際について理解する。 学校に通う対象が、心身ともに健やかに成長発達でき、生涯の生活習慣を獲得していけるための法と学校保健の活動について理解する。				
技術項目					
授業概要	公衆衛生学は、環境、地域、産業、学校など幅広い分野における保健活動を通して、人々の健康に関する課題等を取り上げ、個人個人の生命尊重の基本理念に立脚し、健康増進、疾病予防、医療、産業、生活、環境保護のすべてにわたって、活力ある健康な福祉社会を形成する社会制度を包括する、幅広い概念である。その自然科学と社会科学の両面にわたる特性を理解する。				
授業展開	回数	内容			担当
	1	第1～3章： 健康の概念と公衆衛生 公衆衛生のしくみ			田中 一成
	2	第4章： 人口統計と保健統計（人口静態統計、人口動態統計など） 疫学（疫学調査・スクリーニング・方法論・因果関係など） 第6章： 感染症（感染症、感染症の予防、最近の感染症の動向など）			田中 一成
	3	第7章： 国際保健（世界の健康問題、国際機関など） 第10章： 産業保健（労働災害・産業看護・労働衛生管理・職業疾患） 第11章： 公衆衛生の課題（健康危機管理など）			田中 一成
	4	第8章： 喫煙と健康（タバコの害、受動喫煙、世界的な状況など） 歯・口腔の健康			小畑 充彦
	5	第5章： 食品衛生（食品衛生、食中毒の予防など） 環境保健（環境、地域環境、生活環境、地球環境問題、環境ホルモンなど）			中川 美乃里
	6	第8章： 母子保健の施策と保健活動の実際について ・母子保健の意義、静岡市の母子保健の対象の特徴 ・母子保健行政と静岡市の取り組み、保健活動の実際			保健師
	7	第8章： 成人保健の施策と保健活動の実際について ・成人保健の意義、静岡市の成人保健の対象の特徴 ・健康増進に関する施策・難病の対策と静岡市の取り組み、 保健活動の実際 高齢者保健の施策と保健活動の実際について ・高齢者保健の意義、静岡市の高齢者保健の対象の特徴 ・高齢者保健行政と静岡市の取り組み、保健活動の実際			保健師

	8	<p>第9章： 学校と健康 ・学校保健の目的と対象 学校保健行政 ・学校保健（保健教育、保健管理） ・学校安全 学校給食 ・学齢期の健康状態（体格・体力含む）と課題</p>	保健師
履修条件	<p>「看護師」の本来業務からみれば、やや関連性が薄いと思われがちな部門であるが、広く「健康」に関係する分野であるため、市民が求めている「『健康』に精通した看護師」としては、必要欠くべからざる分野であるとの認識を持ち、講義内容を積極的に吸収する姿勢での受講を要望する。 公衆衛生は生活を支えるためのものであり、私たちの生活に密着したものである。その内容は日々のニュースでもよく取り上げられている。新聞やテレビなどのニュースにおいて、自分たちの生活に関連する内容を意識していくことも、公衆衛生の学習につながる。</p>		
評価方法	終了試験		
テキスト	<p>専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向 2025/2026 (財)厚生統計協会</p>		
参考書	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院</p>		
備考	全講義終了後に終了試験を行います。		

## 看護学科

## 講義要綱

科目	社会福祉論Ⅱ	単位数	1	開講時期	3年前期
授業形態	講義	時間数	15	必修区分	必修
担当者	鈴木 茂 (11) 清水病院地域支援室 看護師：佐野 明日香 (4)				
授業目的	社会保障の理念と基本的な考え方と、生活者の生活問題に対する法律に基づく社会福祉の活動の実際から、課題を考える。				
到達目標	社会保障の理念と基本的な考え方について学ぶ。生活者の生活問題に対する法律に基づく社会福祉の方法と課題について学ぶ。				
技術項目					
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間の健康に関わり、生活を支援するために必要な、社会福祉の分野とサービスを理解する。</li> <li>2 患者、家族、医師、看護師の中で、MSWの存在意義や医療制度改革について知り、MSWの役割変化を理解する。</li> <li>3 新たなテーマ（インフォームドコンセント、セカンドオピニオン等）におけるMSWの関わりについて理解する。</li> </ol>				
授業展開	回数	内容	準備等	担当者	
	1	社会保障制度と社会福祉		鈴木 茂	
	2	社会福祉の分野とサービス 高齢者福祉 障害者福祉 児童家庭福祉			
	3	社会福祉実践と医療・看護			
	4	社会福祉援助 援助技術（個別・集団） 検討課題 連絡の重要性			
	5	テキストを主に、医療現場でのMSWエピソードを紹介		清水病院 地域支援室	
	6	病診連携事業の紹介 福祉制度との関連事項		佐野 明日香	
	7	まとめ		鈴木 茂	
8	終了試験				
履修条件	暮らしの制度や臨床での対象の活用していた社会福祉制度を想起しておいてください。				
評価方法	定期試験・出席状況等による総合評価 講義が中心なので、出席状況を重視する				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院 国民衛生の動向 2025/2026 (財)厚生統計協会				
参考書					
備考					